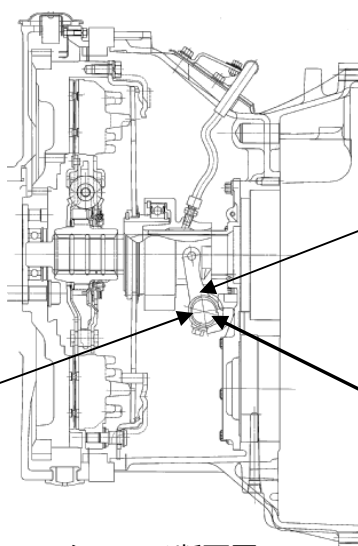


改善箇所説明図



リリースフォーク

リリースフォークシャフト

基準不適合発生箇所

クラッチ断面図

クラッチリリースフォークのキー溝の加工が不適切なため、応力が集中する構造となっており、強度不足のものがある。そのため、クラッチ操作を繰り返すと当該フォークに亀裂が発生し、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、当該フォークが破損し、クラッチを操作しても変速不能となり、走行不能となるおそれがある。また、不適切なグリスを使用するなどの整備状況が重なると、亀裂が発生し同様の事象がおきることがある。

改善の内容

全車両、フォーク一式を対策品と交換する。

なお、当該フォークの点検整備内容を周知し、ユーザーの注意を喚起する。

注：□ は交換部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラー스트ライカ付近に「HD-24」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。